



東海道土山宿のまちなみ（写真上）。江戸後期には44の旅籠が軒を連ねたと言われている。写真下は、甲賀流忍者ゆかりの地である油日神社



**旅人が行き交った東海道の宿場町**  
この地域は江戸時代随一の幹線道路である東海道が横断し、二つの宿場町が栄えました。

「カーレット」でもその様子が描かれました。信楽焼は、土味を生かした素朴な風合いが最大の魅力で、火色・灰被り・自然釉に特徴があります。戦国時代には茶の湯の道具として用いられたほか、近代以降は茶器に限らずタイルや植木鉢、たぬきの置物など、あらゆる焼き物を製作。「形になるものは何でも作る」という伝統と創造が共存するたくましい産地で、消費者のニーズに合わせて多様な製品を生産してきました。

**甲賀流忍者発祥の地**

甲賀市は、忍者発祥の地として全国にその名を知られる忍びの里です。奇抜なアクショなどで海外でも人気の高い忍者ですが、甲

**高齢者福祉の一端を担う**

甲賀市SCは、平成の大合併に伴って五町のシルバー人材センターが平成十七年四月に統合し、今年統合十五周年を迎えます。平成三十年度の会員数は千九百九十一人で、契約金額は約三億四千万円（労働者派遣事業を含む）となっています。請負・委任事業は減少傾向ですが、派遣事業が大きく増加しています。高齢者の就業支援という高齢者福祉の一端を担いながら、「働く」「学ぶ」「遊ぶ」「参画する」で、高齢者に優しい甲賀市の未来に向けた取り組みを推進したいと考えています。（執筆：公益社団法人甲賀市シルバー人材センター事務局長 平林秀樹）

緋色のまち「スカーレット」の舞台

わが故郷  
ふるさと  
じまん  
甲賀市●滋賀県

甲賀市は滋賀県東南部に位置し、大阪・名古屋から百km圏内にある交通の要衝で、人口約九万人のまちです。市の東南部は、標高一〇〇〇mを超える山々が連なる鈴鹿山脈に、西南部は信楽盆地とこれらに続く丘陵性山地によって三重県、京都府に接しています。森林が多く水源涵養や水質保全に重要な、琵琶湖の源流を保持しています。

現在放送されているNHKの連続テレビ小説「スカーレット」(編注：英語で緋色の意味)の舞台になっており、ドラマで描かれる「信楽焼」と、わがまちが世界に誇る「甲賀流忍者」は日本遺産にも認定されています。

**日本六古窯に数えられる信楽焼**

産地としての土壌は約六千五百万年前、信



NHKの連続テレビ小説「スカーレット」の風情が感じられる信楽の窯元(写真上)。日本六古窯の一つである信楽焼は、火色・灰被り・自然釉が特徴(写真左)。古いたたずまの窯元散策路。道しるべが分かりやすく、歩きやすい(写真下)



楽陶土の母岩となる花崗岩が山地に広がりました。そして、約四百万年前に、現在の伊賀付近には、かつて琵琶湖の原型となる古代湖があり、約四十年前に現在の位置まで北上したと言われています。湖底には土砂や動植物の残骸などが堆積した古琵琶湖層があり、そこへ花崗岩や流紋岩の風化物が流れ込んで、焼き物に適した粘土質が出来上がりました。また、信楽は四方を山に囲まれた土地ですが、山越えや峠越えを経て、近辺の宇治や大阪、伊賀へと焼き物を運ぶことができました。特に十六世紀より、当時列島最大級の消費都

**火色・灰被り・自然釉が特徴**

信楽焼は鎌倉時代に始まったと言われ、初期は種つぼや水がめなどが多く作られていましたが、十七世紀(江戸時代)には茶つぼなどの大物陶器が主流に。十八世紀以降は京焼の影響を受けて、食器や神仏具などの小物も作られるようになりました。さらに明治から昭和三十年代までは火鉢の生産が盛んで、「ス